

アルゼンチン知的財産ニュース(月報)

Vol. 49 (2022年5月分)

2022年6月2日発行

日付	2022年5月2日		
分野	特許関連	商標関連	意匠関連
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連
出典	サイト Revista Vision Desarrollista	※公的機関による発表	YES NO
リンク	https://www.visiondesarrollista.org/bioceres-la-empresa-que-nacio-en-plena-crisis-del-2001-y-aspira-a-ser-el-proximo-unicornio/		
タイトル	2001年の経済危機のさなかに生まれ、次のユニコーンを目指す Bioceres 社		

日付	2022年5月8日		
分野	特許関連	商標関連	意匠関連
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連
出典	サイト Portal Begun 0221	※公的機関による発表	YES NO
リンク	https://www.0221.com.ar/nota/2022-5-8-10-42-0-cannabis-en-la-plata-una-historia-de-resistencia-politica-y-ciencia		
タイトル	ラプラタ市の大麻、その抵抗と政治と科学の歴史		

日付	2022年5月9日		
分野	特許関連	商標関連	意匠関連
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連
出典	サイト Portal TN Economia	※公的機関による発表	YES NO
リンク	https://tn.com.ar/economia/2022/05/09/el-original-utensilio-que-inventaron-tres-hermanos-para-incluir-a-todos-en-el-ritual-del-asado/		
タイトル	バーベキューの儀式に使うこだわりの道具として3兄弟が考案したオリジナル器具		

日付	2022年5月10日		
分野	特許関連	商標関連	意匠関連
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連
出典	保健省	※公的機関による発表	YES NO
リンク	https://www.argentina.gob.ar/noticias/visita-la-planta-en-construccion-de-ifas-del-inti		
タイトル	国立工業技術院、建設中の医薬品原薬プラントを訪問		
要約	国立公設試験研究庁 (ANLAP) の経営評議会が、国立工業技術院 (INTI) の化学工業研究開発センター及び建設中の医薬品原薬 (IFA) パイロットプラントを視察した。会合では、生産工場の作業方針を定める際の重要なツールとなる、ANLAP と INTI による共同報告書「医薬品原薬の戦略的医療需要分析」のスコープについて協議された。これは 195 種類の戦略的原薬の初期範囲を定めることになった 2 つの調査を経て作成されたもの。INTI のワーキン		

	<p>グループによって、同技術院の将来のパイロットプラントで生産される可能性のある原料を特定するための検討が行われ、IFAのリストを、製造方法、原産地や特性（化学合成、生物合成、植物合成、分別、非分別）別に分析した。会合には、INTIの契約・産業財産管理担当のヴァレリア・バルトロッチ氏、ANLAPのアナ・リーア・アジェマンド長官をはじめ、ナザレーノ・ペルニャ事務局長、マリア・エウジェニア・ペーレス・ボンサ国家戦略研究部長らが出席した。</p>
--	---

日付	2022年5月11日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	科学技術・イノベーション省 (MCT&I)	※公的機関による発表		YES NO
リンク	https://www.argentina.gob.ar/noticias/el-ministerio-de-ciencia-firmo-un-convenio-con-el-banco-nacion-para-fortalecer-las			
タイトル	科学技術・イノベーション省、科学技術系企業的能力強化のため、ナシオン銀行と協定を締結			
要約	<p>ダニエル・フィルマス科学技術・イノベーション大臣と、ナシオン銀行 Empretec 財団のアドリアン・レベンディカー理事長は5月11日、科学技術系企業（EBT）、技術サービスセンター、イノベティブな中小企業的能力強化を目的とした協力・連携協定に調印した。調印式には、ナシオン銀行のエドゥアルド・ヘッカー経営評議会会長、科学技術・イノベーション省（MCT&I）のマリア・セシリア・スレイマン科学・技術・イノベーション政策担当次官も出席。この協定は、MCT&Iの「技術系起業家強化国家プログラム」の一環として、ワークショップ、トレーニング、指導、技術アドバイスを通じて事業や起業を促進し、能力の強化、知識の伝達、新しい技術系企業の設立促進を目的とする。このプログラムでは、科学技術・イノベーション国家計画2030のナショナルチャレンジとして、公募が行われ、初期段階のプロジェクト15件が選ばれる。これらのプロジェクトに対し、ビジネスプランニング、産業財産、効果的な広報などのトレーニングがバーチャル形式で提供される。</p>			

日付	2022年5月16日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	科学技術イノベーション省	※公的機関による発表		YES NO
リンク	https://www.argentina.gob.ar/noticias/un-encuentro-para-debatir-la-propiedad-intelectual-en-el-sistema-nacional-de-ciencia			
タイトル	国家科学技術イノベーション・システムにおける産業財産に関する検討会			
要約	<p>「国家科学技術イノベーション・システムにおける産業財産」をテーマとした会合が、ダニエル・フィルマス科学技術イノベーション大臣、研究・技術開発・イノベーション推進庁（Agencia I+D+i）のフェルナンド・ペイラーノ長官、国立科学技術研究評議会（CONICET）のアナ・フランキ議長の出席の下で開催された。同会合には、「無形資産、産業財産、技術移転の管理に関する機関間グループ（MINCyT、CONICET、Agencia I+D+i）」の代表を務めるディエゴ・フルタード科学技術イノベーション計画政策局長も出席した。フィルマス氏大臣は「アルゼンチンの発展モデルにおける科学の役割が過小評価されていた時代を我々は過ごしてきた」と話した上で、会合の開催への祝辞を述べた。その上で、特に国家科学技術・イノベーション・システム資金調達法について、長期的な視点に立つことが必要と指摘。「現在アルゼンチンでは、最先端技術の創出が徐々に進んでいる。ある国が単に産業財産</p>			

の利用者である場合と、積極的に技術を生産している場合とでは、状況は異なる」と続けた。CONICETのアナ・フランキ議長は、「この取組みは産業財産のトレーニングを受けた人材への支援とともに、発明を保護する政策の必要性に応えるものであり、産業財産政策の棚卸しや継続的な深化を可能にするものだ」と述べた。

日付	2022年5月17日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	科学技術イノベーション省	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.argentina.gob.ar/noticias/con-1000-de-aumento-en-las-distinciones-se-lanza-la-decimoseptima-edicion-del-concurso			
タイトル	第17回 INNOVAR コンテスト、賞金を増加しての開催を発表			
要約	科学技術イノベーション省芸術・視聴覚コンテンツ局は、第17回全国イノベーション・コンテスト (INNOVAR) への参加プロジェクトの募集を開始した。42のカテゴリーで合計 23,500,000 ペソ (約 20 万米ドル) が賞金として分配される。また、特許が付与された取組みに対しては、世界知的所有権機関 (WIPO) のメダルをかけて競い合うこととなる。17年以上の歴史を持つ同コンテストは、イノベーションを促進し、製品やサービスの発明・創造・改良に挑戦する人々に報いることを目的とした、連邦レベルでのパイオニア的な取組み。今年、革新的な製品、応用研究、農業におけるイノベーション、意匠、ロボットや人工知能、大学におけるイノベーションの6つのカテゴリーに分類されるプロジェクトを対象とする。さらに、科学ポートフォリオの「国家科学技術イノベーション計画 2030」に関連する、アルゼンチン宇宙プログラム、エネルギー変換、食糧主権、デジタル変革、貧困に対するアルゼンチン・プログラム、持続可能な開発への移行、利用しやすく公平かつ質の高い医療、地域開発のためのバイオエコノミー、生産面での発展 (中小企業及び協同組合) などの戦略的課題に取り組む案件には、特別な配慮も行なわれる。			

日付	2022年5月19日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	サイト Jornal Big Bang News	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.bigbangnews.com/policiales/celebran-dalma-y-gianinna-la-justicia-le-prohibio-a-morla-el-uso-de-la-marca-maradona--20225191680			
タイトル	モラ氏、裁判所からマラドーナの商標の使用を禁止され、2人の娘が祝福			

日付	2022年5月23日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	
	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	サイト Revista Abogados	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://abogados.com.ar/proteccion-juridica-de-obras-gastronomicas-son-aplicables-los-derechos-de-autor/30473			
タイトル	ガストロノミー作品の法的保護：著作権は適用されるか？			

日付	2022年5月26日			
分野	特許関連	商標関連	意匠関連	

	その他知財関連	エンフォースメント	政府関連	
出典	保健省	※公的機関による発表	YES	NO
リンク	https://www.argentina.gob.ar/noticias/autoridades-del-ministerio-de-salud-de-la-nacion-se-reunieron-con-las-camaras-argentinas-de			
タイトル	保健省、アルゼンチンの製薬会社協議会と会合			
要約	国民の医薬品へのアクセスを保証するための戦略を推進する目的で、ソニア・タラゴーナ官房長を代表とする保健省の一行が、アルゼンチン国内の製薬会社の代表者らと会談し、医薬品部門の状況、小売価格の推移、国際情勢が現在の医薬品部門に与える影響について情報交換を行なった。タラゴーナ氏は、「医薬品へのアクセス向上のため、医薬品の使用者を指導する役割を担う同省は、あらゆるレベルで戦略を実行する」と述べ、その上で「この国で業界が直面しなければならない様々なプロセスや課題をフォローしているところである」と付け加えた。同会合では、医薬品の輸出入の状況、医療用医薬品と一般用医薬品の小売価格の分析、国際的なインフレが現地の生産プロセスに与える影響などの問題について話し合われた。また、第 75 回世界保健総会へのアルゼンチンの参加を前に、臨床研究、公衆衛生、産業財産とイノベーション、透明性、医薬品アクセスなどの事柄について、アルゼンチンの立ち位置を共有した。			

アルゼンチン知的財産ニュース（月報）はアルゼンチンの知的財産に関する最新状況を日本の皆様にお伝えするため無料でお配りしています。なお、新聞社等の著作権に触れるおそれがありますので、公的機関以外の記事等の要約は掲載しておりません。予めご了承ください。

ご意見・ご質問・ご感想がございましたら、下記までご連絡下さい。

(独)日本貿易振興機構 JETRO サンパウロ事務所 知的財産権部

Alameda Santos, 771 Primeiro Andar, Jardim Paulista, CEP 01419-001, São Paulo -SP, BRASIL

TEL: +55-11-3141-0788, FAX: +55-11-3253-3351

E-MAIL: SAO_ipr@jetro.go.jp

発行人：JETRO サンパウロ事務所 知的財産権部（特許庁委託事業）

免責事項：要約結果は出典原文の意図から相違が生じ得ます。JETRO はご提供する情報をできる限り正確にするよう努力しておりますが、正確性の確認・採否は皆様の責任と判断で行ってください。本文を通じて皆様に提供した情報により不利益を被る事態が生じたとしても、JETRO はその責任を負いません。